

中緑が丘

自主
健康
友愛



←学校HP
はこちら

3年間の集大成！全員で信頼を深める

3年生は、地区中総体を目前に控えた道德の時間に、道德的価値「友情と信頼」に焦点を当てた学習を行いました。生徒たちは、中総体に向けた自分の想いや仲間へのメッセージを共有しながら、チームや仲間との関り方を見つめ直しました。「友情と信頼」は、仲間とともに目標に向かって努力する過程で築かれるものあることを改めて学びました。



「ポジティブ語」を意識して、「ラポール」を構築しよう

今週末に迫った地区中総体に向けて、生徒会執行委員の相沢結衣さんは、ポジティブポスターの取組を呼びかけました。



【3年生壮行会に向けて】

この時期は「失敗したらどうしよう」「勝てるかなあ」と不安になる人もいます。しかし、不安になるのは真剣に取り組んできた証拠です。大切なのは、自分や仲間どんな言葉をかけるかです。

苦しい時に「大丈夫」「次がある」「ナイスチャレンジ」と声をかけ合えるチームは強いです。

こうした前向きな言葉は、自分自身の力を引き出し、仲間との信頼関係も深めます。

試合では結果も大切ですが、それ以上に仲間を信じ、自分を信じて最後までやり切る姿勢が大切です。

彩煌に最高のチームで中総体を全力で楽しもう！

校長の話「体育祭総括集会資料より」

2 団結力・一体感を高めるために

ラポールを構築すること

→互いに信頼し、信頼される関係



東野生徒会長（開閉会式のことば）
「仲間を信じて、最後の一步まで諦めないことを意識してほしい。」

具体的な行動

ラポールを構築する行動

- ・あいさつをする。
- ・ほめる
- ・好意を示す
- ・すぐに反応する。
- ・敬意を払う。
- ・認める
- ・共感する
- ・まめに接する。

ラポールを崩してしまう行動

- ・無視する。
- ・自分のことばかり話す
- ・だます
- ・軽視する
- ・否定する
- ・うそをつく
- ・反応が遅い
- ・批判する

「ありがとう」という感謝を伝える。

本人がいないところで「悪口」をいう。

誰もが一緒に笑顔になれる。それが「モルック授業」!

本校では、生徒たちが運動やスポーツの多様な楽しみ方や価値を実感できるように、体育の授業に「モルック」を取り入れています。

モルックは、フィンランドで生まれたレクリエーションスポーツです。子どもから高齢者まで、また、男女や障害の有無にかかわらず、体力差を越えて誰もが一緒に楽しめる生涯スポーツとしても注目されています。

授業は、岩泉モルック協会の皆様の全面的なご協力のもと実施しています。1年生の中には初めて体験する生徒もいましたが、先輩や仲間と声をかけ合いながら作戦を考えたり、成功を喜び合ったりする姿が見られ、たくさんの笑顔に包まれました。



仲間と共に創る! 地域を伝える! 全校演劇ワークショップ始動



今年度の全校演劇に向けたワークショップが始まりました。

生徒会では、全校演劇が「自己肯定感」や「コミュニケーション能力」の向上につながる大切な活動であること。学年を越えた協力や交流を通して仲間との絆を深めるとともに、地域を題材とした創作劇を受け継いでいくことも大切な文化と考えています。この全校演劇が、今年も生徒たちの成長と絆を深める機会となることを期待しています。

受け継ぐ想い

【令和7年度 第79代生徒総会議案書より】

生徒会では改めて劇の取組を全校で行うことの**価値や大切さ**を考えました。アンケートの結果から本校の課題となっている「**自己肯定感**」や生徒会の目標の一つである「**コミュニケーション能力**」を高める上で、全校演劇の取組は効果的であるとともに、**地元岩泉をはじめとした題材を劇にして多くの人に見てもらおう**ということは、今後も**引き継いでいきたい大切な文化**だと考えます。

④生徒同士のコミュニケーション～仲を深め一体感のある学校へ～より全校演劇では、表現力の向上はもちろん、**様々な係を全校生徒で分担**することで、他の生徒とのかかわりが増えると考えます。

青少年劇場 本物の芸術にふれる時間

岩泉町の青少年劇場として、ヴァイオリン、二十五絃箏、ピアノによるコンサートを鑑賞しました。生演奏ならではの迫力や美しい音色に触れ、生徒たちは音楽の魅力を存分に味わうことができました。演奏会の最後に、中学校を代表して本校生徒会長が感謝の気持ちとともに感想を発表しました。本物の芸術に触れる貴重な機会となりました。

